

継続事業評価調書

【交通安全施設事業】

一般国道 179号

(たつの市新宮町平野)

県土整備部

土木局 道路保全課

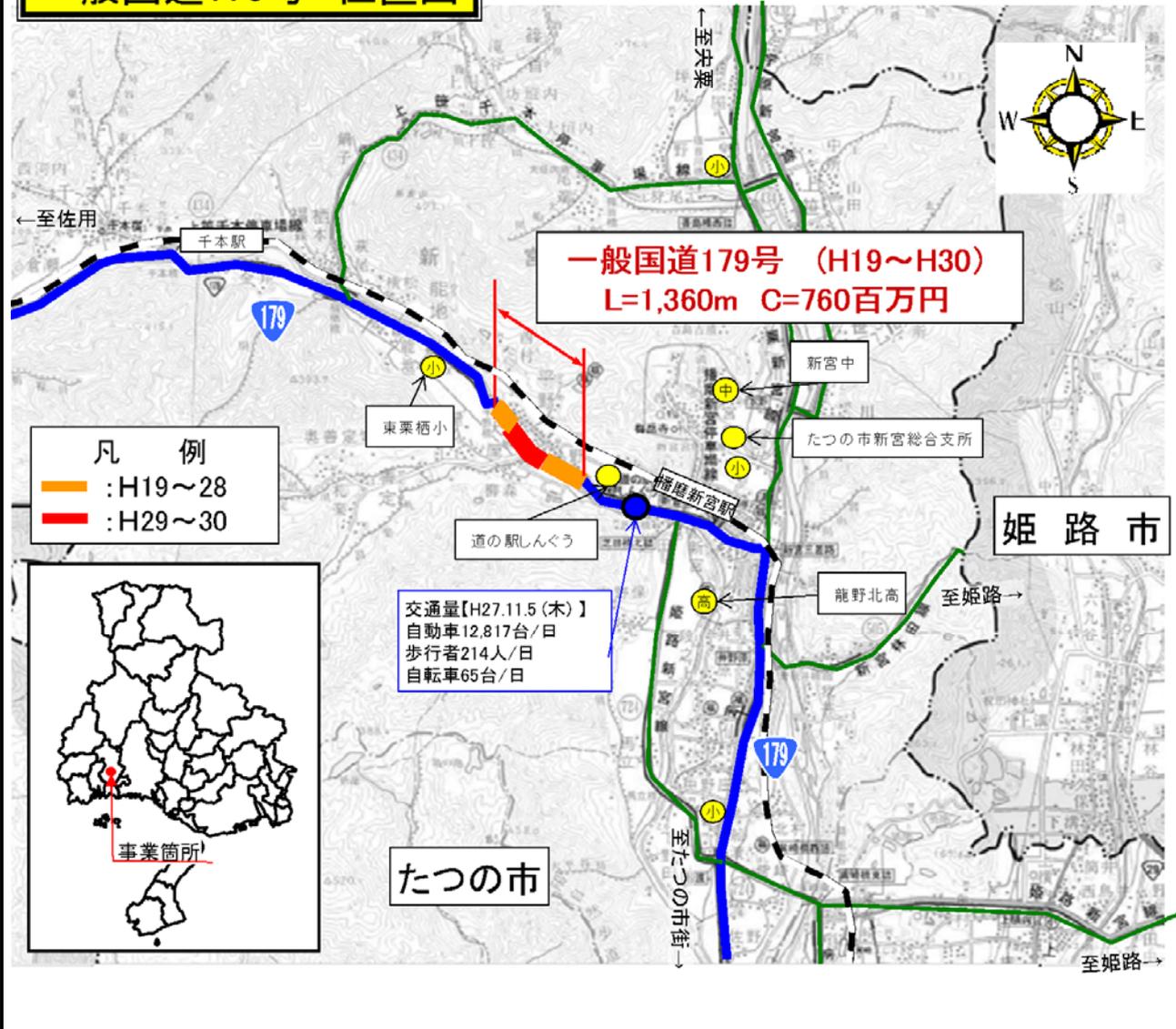
投資事業評価調書（継続：再評価[第1回]）

部課室名	県土整備部土木局 道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 小谷 和弘 (班長 山名 孝志)	内線	4389 (4399)	
事業種目	交通安全施設 事業	新規評価年度	平成 18 年度	現計画	新規評価時点	
		総事業費				7.6 億円
事業名	一般国道 179 号	事業採択年度	平成 19 年度	内用地補償費	3.3 億円	3.8 億円
		着工年度	平成 20 年度	完成予定年度	平成 30 年度	平成 23 年度
事業区間	たつの市新宮町平野		進捗率 (内用補進捗率)	63% (94%)	—	
			残事業費	2.8 億円	—	
事業の目的			事業内容（前回評価時点）			
<p>○安全な歩行者・自転車通行空間の確保</p> <p>当該区間は、自動車・歩行者・自転車の交通量が多いにも関わらず、歩道が未整備で、歩行者・自転車・自動車の輻湊により危険なため、歩行者と自転車の通行空間の整備を行い、歩車分離を図ることで交通安全対策を推進する。</p>			<p>歩道設置[片側]（自転車歩行者道設置） 延長：1,360m 幅員：2.5m（3.5m） 【現況交通量H27.11.5】 自動車 12,817 台/日（11,618 台/日） 歩行者 214 人/日（56 人/日） 自転車 65 台/日（91 台/日） 【負担割合】 国：55% 県：45%</p>			
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	<p>【前回評価時点からの事業計画の変更概要】</p> <p>① 地元からの要望等を踏まえた道路線形の見直しによる一級河川栗栖川の付け替え（280m）等により、事業費が約 1.6 億円増額する。</p> <p>② 地図訂正や墓地の移転、河川管理者(国)との協議等に時間を要したことから、完了予定年度を平成 30 年度に変更する。</p> <p>③ 自転車ガイドラインの改定(H28)等、“自転車は原則車道”の徹底を受け、道路幅員の再配分を行い、自転車歩行者道から歩道と幅広路肩に変更する。</p>					
進捗状況	<p>① 進捗率は、事業費ベースで63%、用地取得率で94%（平成28年度末予定）。</p> <p>② 平成28年度に、約960mが完成予定。</p>					
評価視点	評価結果の説明					
審査会意見 (H18)及び 対応方針	【審査会意見】 着手妥当		【対応方針】 —			
(1)必要性	<p>① 当該区間は、自動車交通量が多いにも関わらず、歩道が未整備であるため、児童は、市道を迂回し、通学している。歩道・自転車走行空間の整備後は、東栗栖小学校や新宮中学校、龍野北高校への通学に利用される。</p> <p>② 当該区間内で、過去5年に死傷事故が、15件発生している。</p>					
(2)有効性 ・効率性	<p>① 「播磨新宮駅」と「千本駅」の間の歩道が繋がり、連続した安全な通行空間が確保される。</p>					
(3)環境 適合性	<p>① 歩道舗装には、雨水が地中に浸透する透水性舗装を採用し、地下水涵養を図る。</p>					
(4)優先性	<p>① 学校関係者、地元住民、道路管理者、警察等で実施した通学路合同点検において、当該区間での通学児童の危険性が指摘されており、たつの市の「通学路交通安全プログラム」に本事業が位置付けられている。(H26)</p> <p>② 歩道未整備区間である当該区間は地元からの要望が強い。</p>					
再評価 の結果	継続	左の理由	<p>事業の必要性は事業採択当時と変わらず、また、概ね用地取得が完了していること、たつの市の通学路交通安全プログラムに本事業が位置付けられていることなど、継続して事業実施する必要がある。</p>			

事業進捗状況概要図（継続：再評価）

事業名	交通安全施設事業	路線名	一般国道 179 号
-----	----------	-----	------------

一般国道179号 位置図



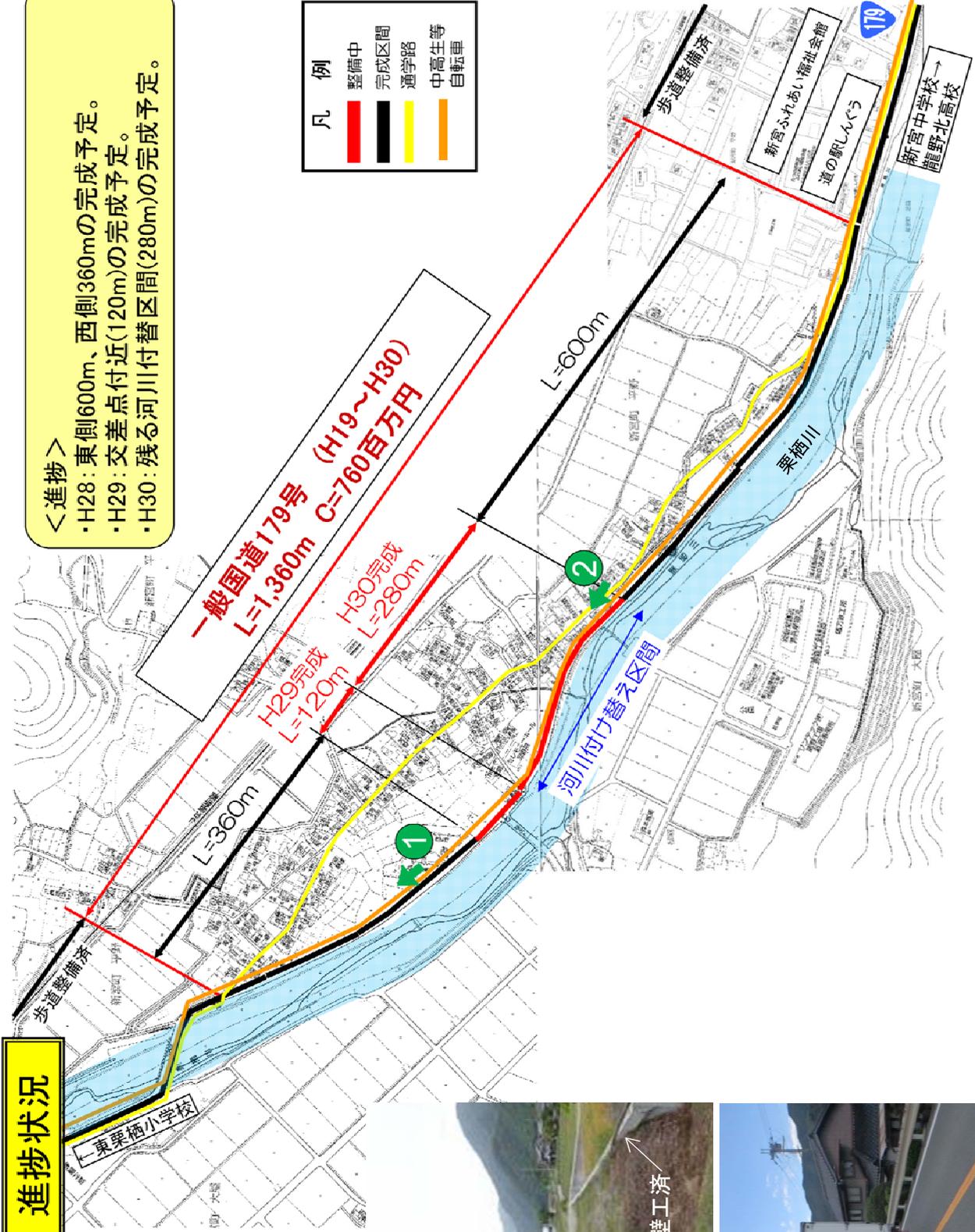
	事業進捗状況・予定	整備効果
全体 (H19~30)	【事業費＝約 7.6 億円】 延長 1,360m 用地取得面積：約2,900m ² 物件補償件数：13件	東栗栖小学校・新宮中学校・龍野北高校等の通学利用をはじめとする歩行者・自転車の安全が確保出来る。
事業採択～ 再評価まで (H19~H28)	【事業費＝約 4.8 億円】 ①事業進捗率 63% ②用地取得率 94% H28 一部完成（約960m） （東側600m、西側360m）	一部完成により、一部が通学路に振り替えられるなど、歩行者・自転車の安全が確保できる。
今後2年間 予定 (H29~30)	【事業費＝約 2.8 億円】 H29 用地補償完了 一部完成（約120m） H30 全線供用	一連の歩行者・自転車の安全が確保できる。

進捗状況

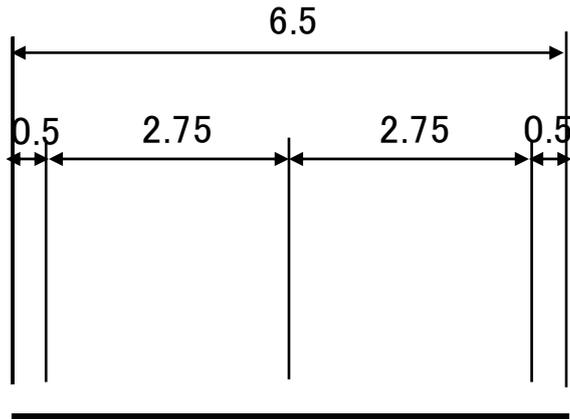
<進捗>

- ・H28: 東側600m、西側360mの完成予定。
- ・H29: 交差点付近(120m)の完成予定。
- ・H30: 残る河川付替区間(280m)の完成予定。

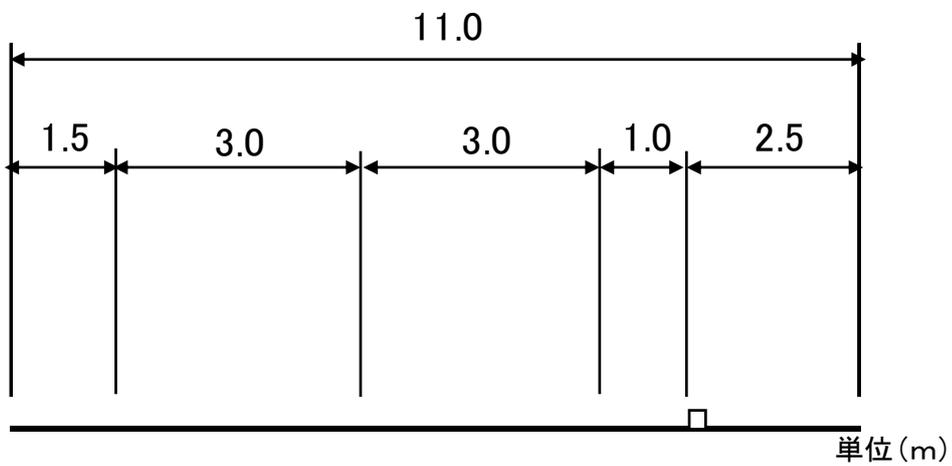
凡 例	
■	整備中
■	完成区間
■	通学路
■	中高生等 自転車



現況断面図



計画断面図



■ 継続事業

当初計画及び実施・計画工程

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
調査設計	■											
用地補償		■	■									
工事			■	■	■	■				■	■	■

河川付け替え協議

■ : 当初計画
■ : 実施・計画